

第 3 回
広島市競輪運営委員会
資料

平成29年11月2日
広島市経済観光局競輪事務局

～ 目 次 ～

I. 広島競輪の運営状況	P3
1 平成28年度決算及び平成29年度決算見込み	P4
2 広島競輪事業におけるこれまでの推移	P5
(1) 市営競輪及び場外競輪の車券売上高・入場者数	P5
(2) 市営競輪の車券売上高の内訳(発売区分別)	P6
(3) 単年度収支の状況	P7
(4) 基金残高等の状況	P8

II. 広島競輪の将来の車券売上見通し	P9
1 開催日数及びグレード別発売区分別車券売上の推移	P11
2 平成30年度から平成40年度までの車券売上の推計方法	P12
3 平成30年度～平成40年度の車券売上の推計	P13
III. 報告事項	P14
1 千葉市の競輪事業の検討状況について	P15

I . 広島競輪の運営状況

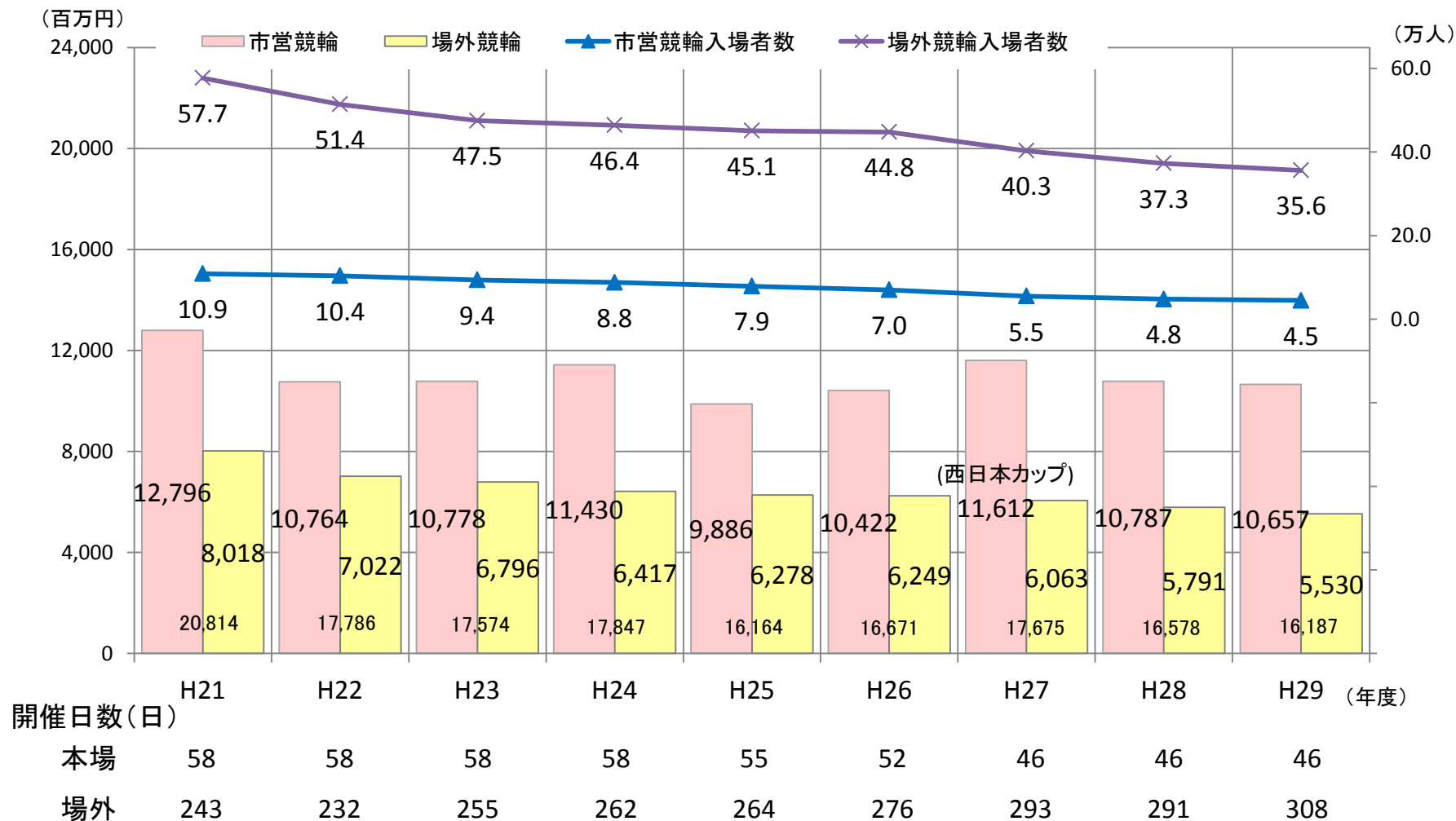
1 平成28年度決算及び平成29年度決算見込み

(単位:百万円)

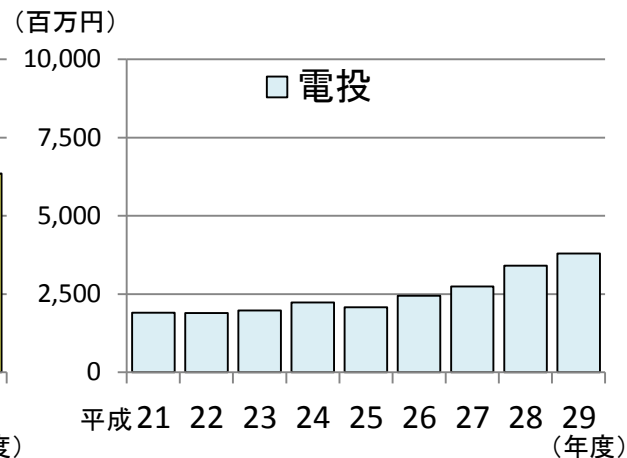
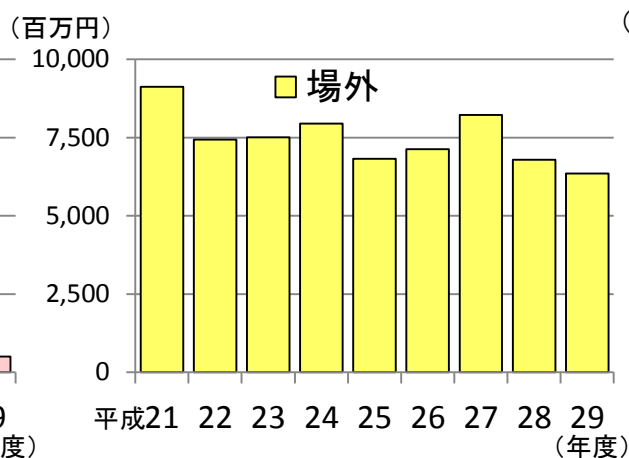
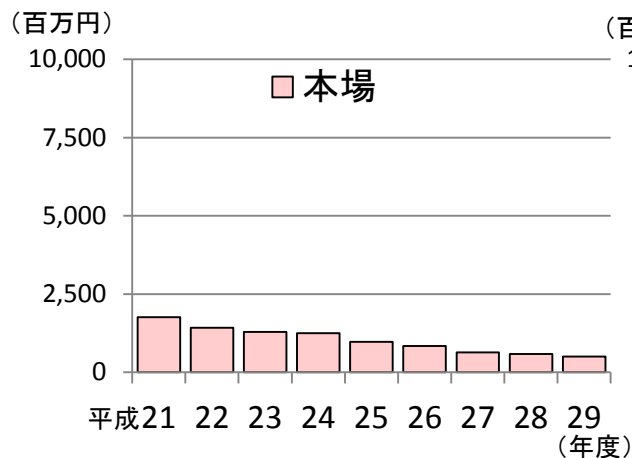
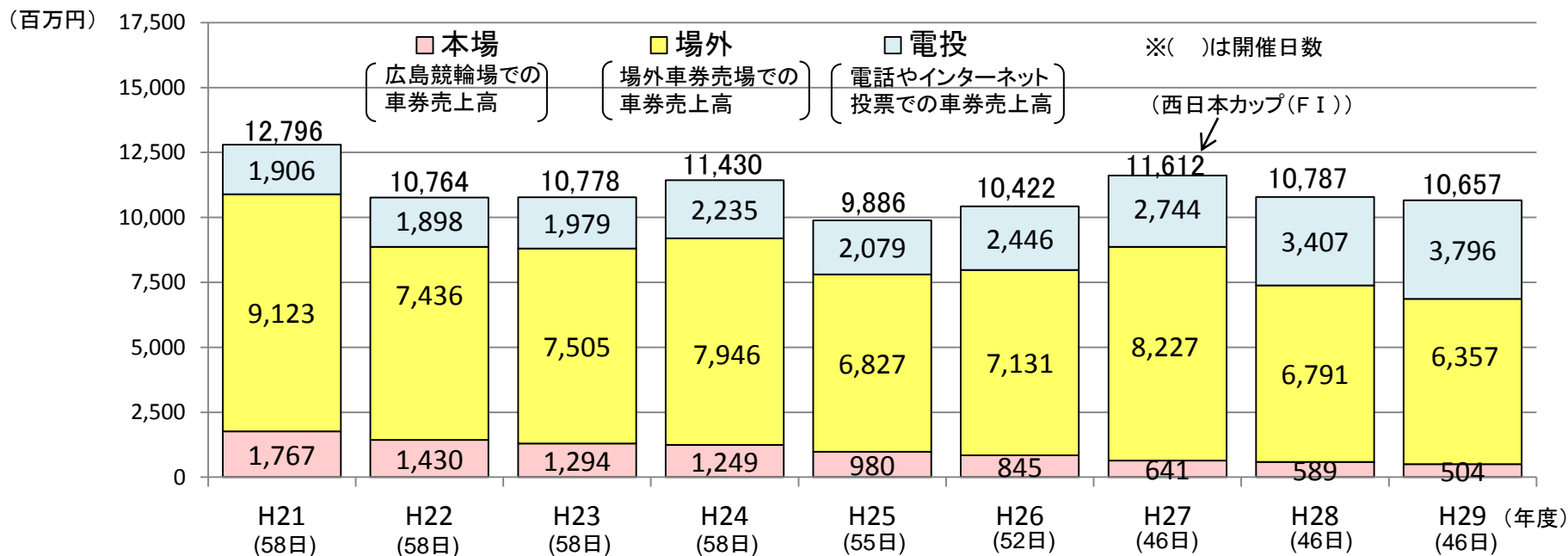
区 分		H26年度	H27年度	H28年度 (a)	H29年度見込 (b)	増減 (b-a)
	本場日数	52日	46日	46日	46日	
	本場入場者	69,537人	54,847人	47,785人	45,013人	
	場外日数	276日	293日	291日	308日	
	場外入場者	447,511人	402,920人	372,625人	355,856人	
歳入	①車券売上(市営競輪)	10,422	11,612	10,787	10,657	▲130
	②入場料	6	5	4	4	0
	③場外収入(施設貸付収入等)	371	334	380	364	▲16
	④食堂等光熱水費実費回収金等	15	14	13	12	▲1
	収益保証対象歳入計(①~④) (A)	—	11,965	11,184	11,037	▲147
	⑤収益保証補填金(3億円-(A-D))	—	31	6	19	13
	⑥前年度繰越金 (B)	768	756	742	755	13
歳入計 (C)		11,582	12,752	11,932	11,811	▲121
歳出	⑦払戻金	7,774	8,664	8,048	7,951	▲97
	⑧JKA交付金等	477	500	495	523	28
	⑨選手賞金	509	486	486	486	0
	⑩職員人件費	158	83	75	67	▲8
	⑪国有地借上料	126	125	125	125	0
	⑫開催経費(場外分)	1,129	1,323	1,088	1,018	▲70
	⑬インターネット発売経費等	52	93	160	173	13
	⑭包括委託料	—	309	310	310	0
	⑮光熱水費等	144	113	103	103	0
	⑯開催経費(本場分)	385	—	—	—	—
	⑰従事員退職金等	49	—	—	—	—
	収益保証対象歳出計(⑦~⑰) (D)	—	11,696	10,890	10,756	▲134
	⑱施設整備費等	23	48	10	0	▲10
⑲基金積立金 (E)	0	266	277	300	23	
歳出計 (F)		10,826	12,010	11,177	11,056	▲121
⑳翌年度繰越金(C-F) (G)		756	742	755	755	0
単年度収支((G-B)+E)		▲12	252	290	300	10

2 広島競輪事業におけるこれまでの推移

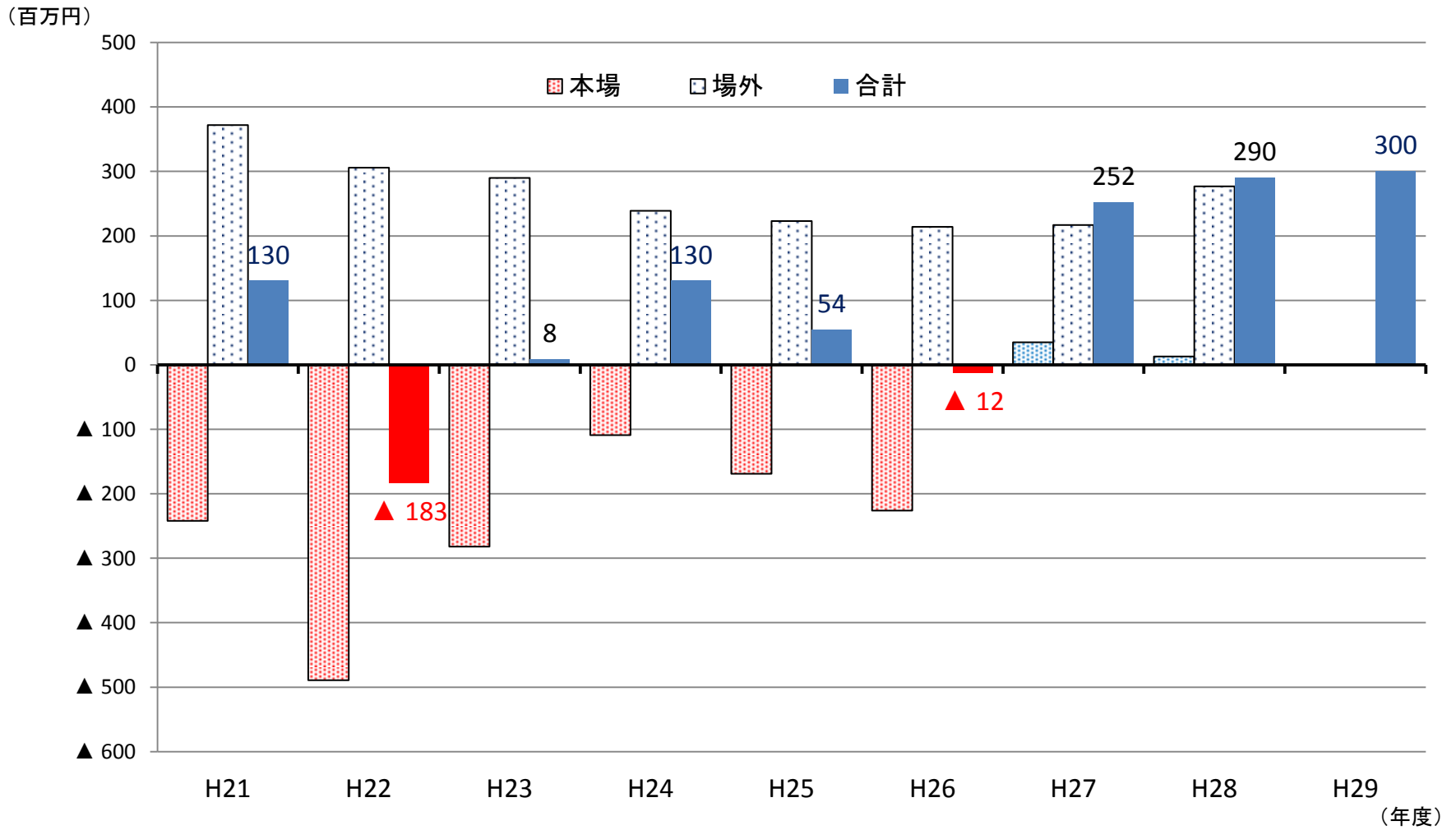
(1) 市営競輪及び場外競輪の車券売上高・入場者数



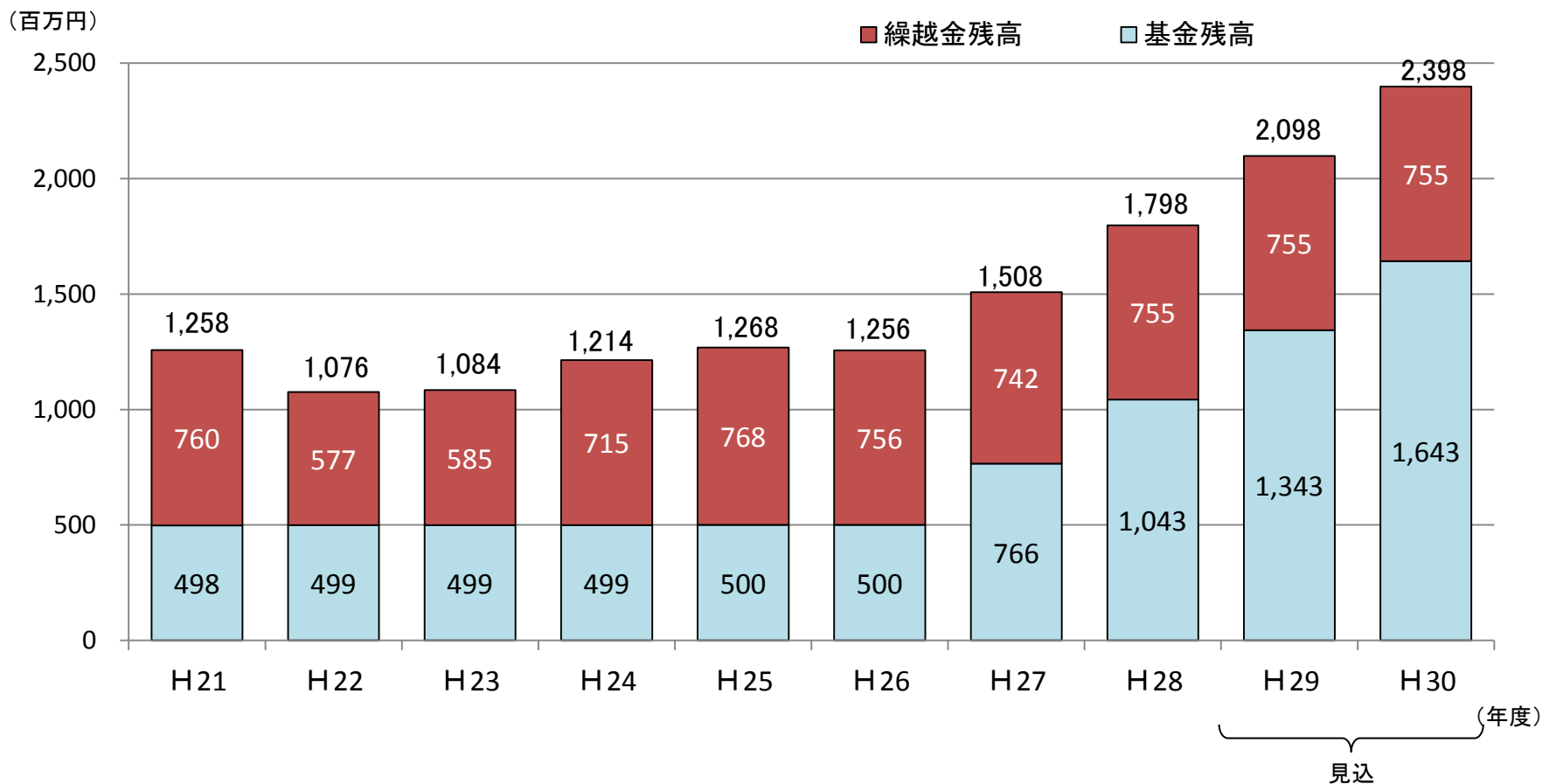
(2) 市営競輪の車券売上高の内訳(発売区分別)



(3) 単年度収支の状況



(4) 基金残高等の状況



平成29年度、平成30年度の収益について、一般会計への繰出を行わず、基金に積み立てた場合、「基金」と「繰越金」とを合わせた残高は、平成27年度からの包括委託の導入による収益保証により、委託期間満了の平成30年度末には約24億円になると見込まれる。

Ⅱ．広島競輪の将来の車券売上見通し

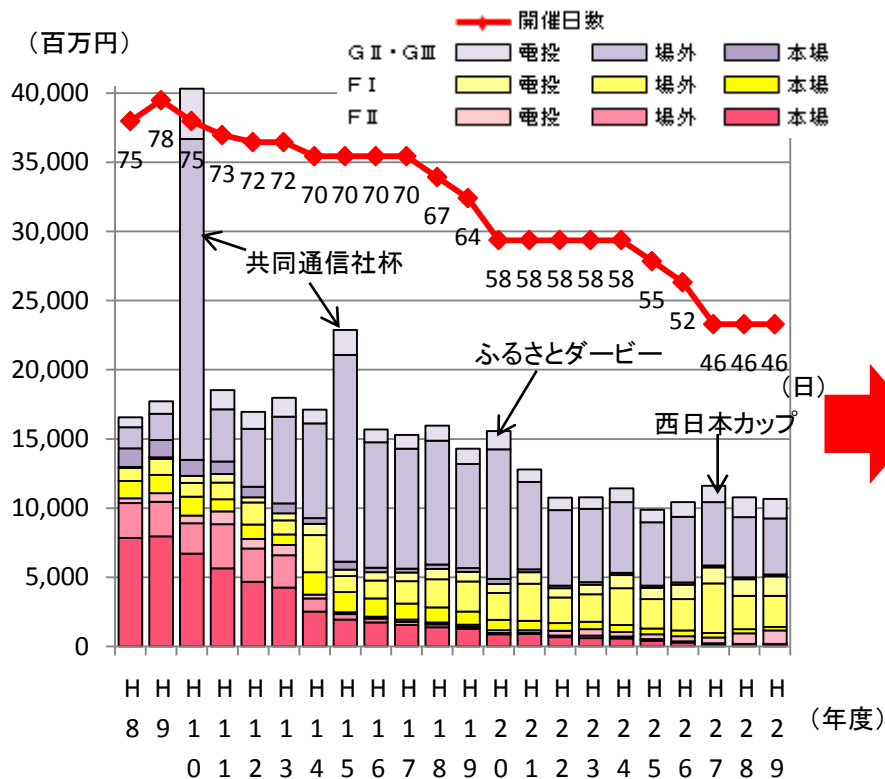
平成30年度から平成40年度までの車券売上見込額について、過去の車券売上実績(平成8年度～平成28年度)を基に推計する。

【推計に当たってのデータ補正】

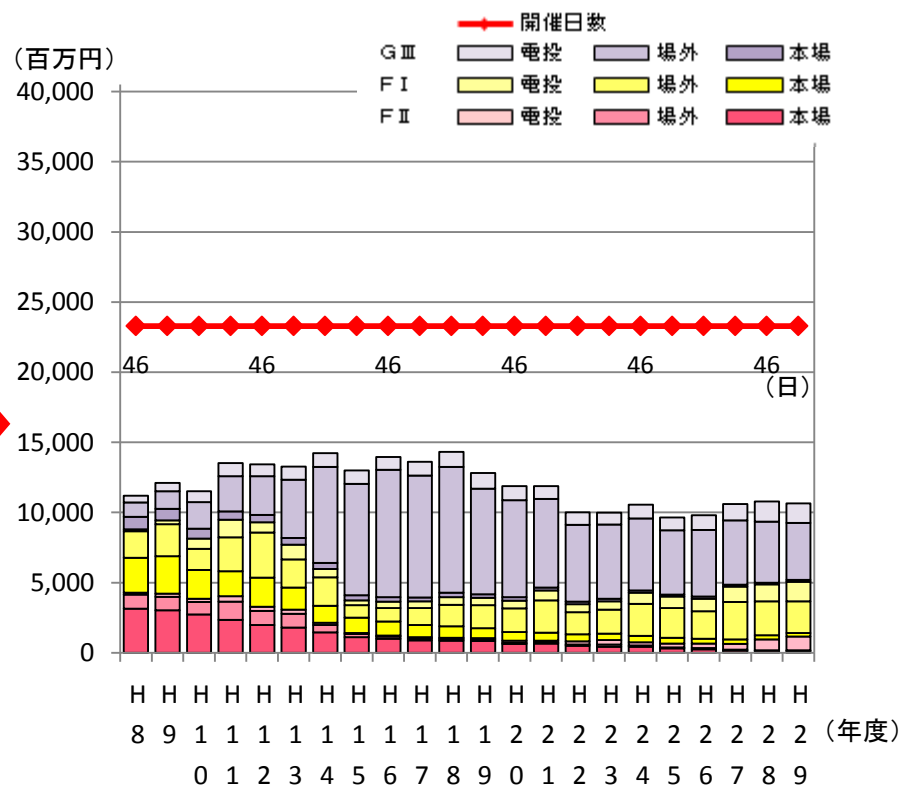
- 競輪開催日数が年度ごとに異なっているため、それぞれの車券売上実績は平成28年度のグレード別開催日数(GⅢ4日、FⅠ18日、FⅡ24日、計46日)に換算する。
- 不定期開催のレースは次のとおり換算する。
 - ・ 共同通信社杯(GⅡ)及びふるさとダービー(GⅡ)の車券売上は、前年度及び翌年度の記念競輪(GⅢ)における車券売上実績の平均値とする。
 - ・ 西日本カップ(FⅠ)の車券売上は、同年度に開催した西日本カップを除く5節のFⅠレースにおける車券売上実績の平均値とする。
- 平成29年度の車券売上は、上半期の売上実績に下半期の売上見込額を加えたものとする。

1 開催日数及びグレード別発売区分別車券売上の推移

● 実績



● データ補正後



2 平成30年度から平成40年度までの車券売上の推計方法

時系列の車券売上傾向を把握するため、開催日数等により補正した平成8年度から平成28年度までの車券売上に基に、「対前年度平均増減率」を幾何平均により算出する。

この「対前年度平均増減率」は、開催グレード別発売区分別に、直近5年、10年、15年、20年の4つのパターンで算出することとし、このうち、最も厳しい傾向を示したパターンを基に、平成30年度以降の車券売上を推計する。

【対前年度平均増減率】

$$\text{直近}n\text{年における対前年度平均増減率(\%)} = \left(\sqrt[n]{\text{直近}n\text{年分の対前年度比の積}} - 1 \right) \times 100$$

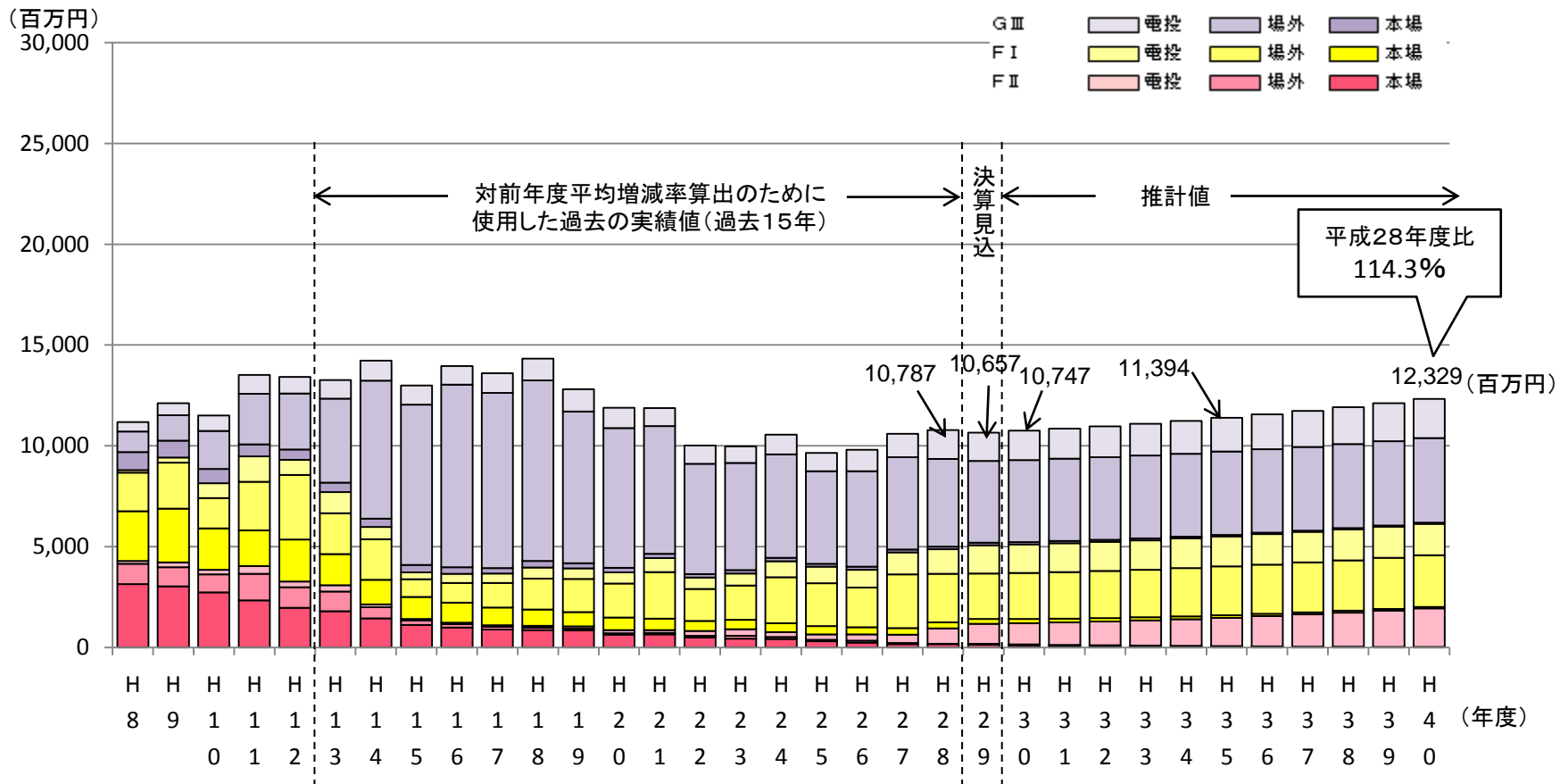
【平成30年度以降の車券売上】

●開催グレード別発売区分別n年後の車券売上 =

$$\begin{aligned} & \text{平成29年度の開催グレード別発売区分別車券売上} \times \\ & \left(1 + \frac{\text{開催グレード別発売区分別対前年度平均増減率}}{100} \right)^n \end{aligned}$$

●n年後の車券売上 = 開催グレード別発売区分別n年後の車券売上の合計

3 平成30年度～平成40年度の車券売上の推計



広島競輪の直近15年の対前年度平均増減率

区分	電投	場外	本場
G III	3.0%	0.3%	▲8.2%
F I	1.0%	1.2%	▲10.4%
F II	6.2%	▲21.9%	▲15.0%

III. 報告事項

1 千葉市の競輪事業の検討状況について

【第2回運営委員会での報告内容】

平成25年4月1日 包括委託(第1回目)の実施。

平成27年1月23日 車券売上の長期低落傾向に歯止めがかからず、平成29年度末の事業廃止に向けて検討を進めることとした旨を記者発表。

平成28年4月1日 包括委託(第2回目)の実施。

平成28年6月 包括委託業者から、「事業者が施設整備費用を負担のうえ、国際規格の自転車競技トラック(250mの屋内木製トラック)を有する多目的競技場を整備・運営する」、「当該競技場で国際ルールに準拠した「250競輪」を実施する」という提案を受けた。

平成28年12月5日 これを受け、市として各種検討や関係団体等との調整・協議に着手した旨を市議会で答弁。

【その後の状況】

平成29年9月12日 各種検討や調整・協議の結果、250競輪による事業実施の方向性がまとまったため、競輪実施に向けての協力を依頼する文書を関係団体に対して提出。

平成29年9月13日 今後のあり方の方針として、250競輪による事業継続について、具体的な調整・協議を進め、250競輪実施に向けた取り組みを進めるものとした旨を記者発表。